

三条市の障がい者雇用を巡る動向

「わかばの会」の閉会について

三条市地域自立支援協議会

平成21年11月9日

「わかばの会」とは

- 設立 昭和44年7月
- 経過 月々岡養護学校の卒業生の職場実習先、就職先の確保に苦慮している実態から、障がい者雇用に理解ある企業主が協力、これを契機に理解者を増やし、会の設立となった。県内でも稀な雇用促進団体として評価。
- 目的 心身障がい者の職業指導と卒業後の職場適応の強化と福祉を図り、産業振興にも役立てる。
- 会員数 平成4年頃 48人

「わかばの会」の閉会

- 閉会 平成21年11月7日
- 閉会に至る経緯
 - 平成10年度以降、様々な障がい者雇用施策や制度が整備されつつあり、「わかばの会」会員の減少、経済不況などがあいまって、各事業所においては、雇用促進支援や職場定着支援、厚生活動など「わかばの会」の果たしてきた部分は、他の取り組みに代わる傾向が顕著となった。
- 閉会後の課題
 - ① 障がい者雇用事業所間のネットワークの喪失
 - ② 障がい者雇用事業所の職場定着ノウハウの情報交換機会の喪失など
 - ※市内の障がい者雇用の特徴ある取り組みが終了となった。
- ③ 地域自立支援協議会に障がい者雇用に取り組む事業所の意見反映